

《第13回 秋の縄文野焼き祭り》

■縄文野焼き祭りとは？

今年で6年目となる猪風来美術館恒例の『縄文野焼き祭り』では、館の陶芸教室生や法曾焼同好会員の作品を焼成。焼物の原点である縄文野焼きは、窯を使わずに天と地、太陽と風と火の力によって焼きあげます。生命と魂の躍動する独自の造形と縄文文様は現代の人々を魅了しています。

■野焼きの見どころ

今回の見どころは、重要文化財指定の亀ヶ岡式遮光器土偶の復元や創作土偶。中空土偶の造形は縄文の技巧の粋でもあり、豊饒と再生の祈りをこめた心の表現なのです。不思議な姿の土偶、あなたには何に見えますか？
どなたでも自由に参加・見学できますので、みなさんお誘い合わせのうえお越しください。



〈縄文体験コーナー〉



■縄文土器で煮炊きしよう！

昔、縄文土器は煮炊き用の鍋として使われていました。尖った土器の先端を土や灰に突き刺し、そのまわりに薪をつんで燃やして猪汁を作ります。みんなで野生的な味わいを堪能しよう！

□(12時頃～/無料)



〈縄文野焼き大賞〉

■縄文野焼き祭りで焼き上がった作品の中から「縄文野焼き大賞」をはじめ各賞を選考・表彰いたします。それぞれ賞状や記念品が贈呈されます。炎の中で命を宿したみなさんの力作の、あたたかく力強い焼き上がりの縄文ならではの味わいをどうぞご覧ください。
作品は後日、猪風来美術館にて展示いたします。

■粘土でつくろう！

願い、祈りを込めて粘土を握る「にぎり地藏」やまが玉など、思い思いの発想であなただけの作品を。

□(随時/300円)

春に引き続き、東日本大震災の震災地の皆様への思いや気持ちをこめた「縄文いのりの土偶」づくりをいたします。参加費300円は全額、復興義援金として寄付させていただきます。



■石でまが玉をつくろう！

まが玉は生命の根源のかたち。しあわせを祈り魔を祓う力が宿っています。

□(随時/黒・ピンク・白各500円)



〈販売コーナー〉



■地元の法曾焼同好会が、お弁当やお飲み物などを販売いたします。



- 日時 2011年10月30日(日) 午前9時～午後4時
※雨天延期 11月6日(日)
- 会場 猪風来美術館前広場
入場無料(館内は観覧料が必要です)
- 主催 新見市・新見市教育委員会
猪風来美術館(新見市法曾陶芸館)
法曾焼同好会
- お問い合わせ先 猪風来美術館
〒719-2552 岡山県新見市法曾 609
TEL・FAX 0867-75-2444



<http://www.ifurai.jp/>

- アクセス
岡山から車で約90分
岡山空港から車で約70分
賀陽ICから車で約45分
新見ICから車で約30分
井倉駅からタクシーで約15分
方谷駅からタクシーで約10分